



としま町連だより

No.142 令和6年11月号
発行 豊島区町会連合会
電話 4566-2315

豊島区町会連合会は、行政と地域社会を支える組織として、お互いの信頼関係のもとパートナーとして、活動していきます。

■令和7年新年懇親会■

前号でお知らせいたしましたとおり、下記により開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

- 1 日時 令和7年1月14日（火） 午後6時より
- 2 場所 ホテルメトロポリタン（3階富士）
- 3 会費 一人11,000円
- 4 参加者 各町会3名以内

※開催のご案内は11月中旬にお送りいたします。

■正副会長会（定例会） 報告■

◎ 日時：10月23日（水）午前10時30分
（豊島区）

- 1 町会セミナーについて
- 2 区政連絡会のオンライン開催について

（町連）

- 1 「第9回ソメイヨシノ桜の観光大使コンテスト」後援名義使用承認について
- 2 豊島区自転車等駐車対策協議会委員の推薦について
- 3 令和7年新年懇親会について
- 4 令和7年度区に対する要望について（「要望書」区長提出）

■役員会 報告■

◎ 日時：10月24日（木）午前10時30分
（豊島区）

- 1 町会セミナーについて
- 2 区政連絡会のオンライン開催について

（町連）

- 1 令和7年新年懇親会について
- 2 令和7年度区に対する要望について

（裏面へつづく）

令和6年10月23日

豊島区長
高 際 み ゆ き 様

豊島区町会連合会
会長 片 桐 昌 英

令和7年度区に対する要望について

1. 区政連絡会のオンライン化の推進とタブレット端末の貸与等について

区政連絡会のオンライン化が進み、令和5年度までに全12地区中6地区でオンライン開催が可能となりました。引き続き全地区での展開を速やかに実施されるようお願いいたします。

開催可能地区では、年に複数回オンライン開催を行うことで、忘れがちな操作方法やルールの確認を行うことができますが、スマホの利用者においては画面が小さく、扱いづらいという声も少なくありません。

再度のコロナ蔓延や悪天候時の開催の際に、区民ひろばに出向き、PCを利用することは現実的ではありません。

今後、全地区でのオンライン化を推進するにあたり、必要な区政連絡委員（町会長）には、見やすく扱いやすいタブレット端末の貸与を行うよう強く要望します。

2. 中高層住宅建築物の町会加入協議への支援について

中高層住宅建築物の町会加入協議については、一定の成果があるものの、課題も多々あることが本年2月のアンケートにより判明しました。

集合住宅がますます増加し若年層や子育て世代が増える中、町会加入率の低下や担い手が不足するという課題を少しでも解決していくためには、町会の地道な努力も必要ですが最初のとっかかりとしての「事前協議」はとても重要です。

協議の形骸化や協議時の相手方の異動など、町会だけでは対応できないこともありますので、区においても更なる支援を要望します。

3. 国勢調査について

令和7年度に国勢調査の実施が予定されています。地域をよく知る町会員が調査員を担うことは意義があることだと思います。

前回（令和2年）はコロナ禍を理由として、原則、訪問を1回とするなど調査員の負担が軽減されましたが、5年が経過し、町会役員の高齢化が進み、新たな調査員の選出も厳しくなっています。

令和7年度の実施に当たっては、オンライン回答の更なる推進など調査員業務の負担軽減に加え、調査員の選出が困難な場合の配慮をお願いいたします。

4. 広報掲示物について

区政連絡会等を通じて、町会掲示板への各種イベントや啓発のためのポスター等の掲示が依頼されます。掲

示依頼には積極的に協力を行っていますが、一方で、同じポスター等が区の広報掲示板に貼付されていない場合も見受けられます。

広く区民に周知するためには、町会掲示板と同時に広報掲示板も活用するべきと考えます。

また、掲示物には連絡先が記載されていますが、若年層をはじめより広い区民への周知のために、QRコードの表示も必要と考えます。

5. 広報掲示板の更新について

町会掲示板の改築や修繕に対する区の助成制度が充実され、老朽化した町会掲示板を、扱いやすく見映えの良いものに改修できることに感謝いたします。

一方で、区の広報掲示板は老朽化が進んでおり、掲示物が風雨によりはがれたり飛ばされるなど、多くの来街者や区民が目にする広報掲示板に景観上の課題を感じています。

予算の範囲で順に更新されていると聴いていますが、ガラス扉を設置するなど修繕も含めて早急に更新等を進めていただくことを要望します。

6. 防犯カメラにかかる電気料金の補助について

東京都では「防犯設備運用経費補助事業」として、地域の防犯力維持向上に取り組む地域団体の負担軽減を図り、持続的な活動を支援するため、防犯カメラに係る電気料金の補助を行っています。

この事業は区が同様の補助制度を設けていることが前提となっており、1台当たり年4,000円の補助額は、町会運営の支援と安心・安全な生活を守るための一助となることは疑う余地也没有ありません。

防犯カメラの電気料金補助はこれまでも要望してまいりましたので、ぜひとも当該補助制度を区において創設していただくことを要望します。

7. 「救援センター運営協議会」の開催及び合同防災訓練について

合同防災訓練の年1回開催要望に対する昨年度の回答は、誠に残念でした。

今年度は、全救援センター災害用トイレの設置、女性防災リーダーの育成など災害対策の強化が図られていますが、いざという時に同じ救援センターを運営・活用する団体（区民）や行政が、一堂に会して意見交換を行うなど、日ごろから顔なじみになることが、本番でのスムーズなセンター運営や人材育成につながるものと考えます。

ついては、行政、地域団体、施設管理者、町会などによる「救援センター運営協議会」の設置と定期的な開催を要望します。

併せて、合同防災訓練については、防災意識の啓発と災害時の活動ノウハウを継承させていくための人材育成の必要性から、年一回の開催を再度要望します。

地域の災害対応への意識が高まる中、今後の更なる防災力強化のためには、行政の機能強化や人材がさらに必要と考えられるため、僭越ながら「防災部」のような組織の設置も検討していただきたいと思います。

8. ベンチプロジェクトについて

町中や片隅にちょっとしたベンチがあることは、井戸端会議や買い物時の小休憩などホッとする空間が生まれ、高齢者だけでなくまちのコミュニケーションの増加に寄与するものと期待しています。

体操やウォーキングなどの際に、公園にもベンチがあると助かりますので、これらの公共施設も対象とし広げていっていただきたいと思います。

一方で、トランパル大塚ではホームレスや外国人がベンチを長く陣取ったり、寝ていることも見受けられますので、その改善と今後の設置に当たっては仕切りを高くしたり細かくするなど工夫をしていただくようお願いいたします。

9. ゴミ出しマナーの更なる徹底について

指定日を守らない、防鳥ネットの中に入れないなど、ゴミ出しマナーに欠ける人がいるため、後片付けが大きな負担になっています。

外国語版のお知らせやごみ集積所でのQRコードの設置、生活オリエンテーション動画の配信など様々な工夫をされ、マナー向上に努力されていることは承知していますが、改善が難しい状況が続いています。

入居時に家主や不動産会社などの管理者がルールをきちんと説明するよう、管理者に直接指導を行うなど、更なるゴミ出しマナーの徹底を要望します。

10. 段ボール集団回収への報奨金の復活について

現在、古紙、古布等の集団回収に報奨金を支給していただいております。段ボールも集団回収の対象ですが、平成11年より報奨金の対象外とされました。

ネットやテレビなどによる通信販売が増加し、段ボールの活用が広がっています。段ボールも貴重なリサイクル資源となると考えられますので、再度報奨金の対象とされるよう検討を要望します。

11. 公園等への防災倉庫の増設等について

公園、児童遊園は、災害時において地域の一時避難場所となることやいざという時の必要機材等を保管するため、地域防災組織倉庫を設置させていただいています。

原則として一組織一倉庫（一公園一倉庫）と聞いていますが、高まる災害への危機感から多様な機材が必要となり、倉庫が不足する町会が見受けられます。

公園本来の目的や広さに限りがあることから「原則」は必要と思いますが、一律の原則とするのではなく、地域の実情に応じて工夫を凝らす中で防災倉庫の増設等を強く要望します。



「要望書」区長提出（於；区長応接室）